

# 多里生産組合がんばる農家プラン

作成年度 平成23年度  
多里生産組合

# 多里生産組合がんばる農家プラン

作成者 多里生産組合  
事業主体 多里生産組合

## はじめに

高齢化が進み、担い手不足等により、日南町の基幹産業である農業の明日が見えない時代になってきた。

そうした状況の中で、平成8年農事組合法人多里生産組合を設立し、当時3haであった受託水田も16年には12.6ha・23年には20haを受託する状況となった。

転作水田も年々多くなり、ソバ・トマト・ピーマン・椎茸・リンゴ・等の栽培に取り組んでいる。

平成17年度にチャレンジプランに取り組みトラクター・コンバインを導入することができ、規模拡大と作業受託がチャレンジプランの目標より早く進んだ。

作業受託	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
トラクター	2.12ha	1.63ha	1.63ha	2.09ha	2.05ha	0.7ha	0.7ha
コンバイン	11.44ha	12.17ha	16.61ha	14.28ha	12.28ha	12.26ha	12.98ha

## 1 生産経営の現状・課題

### (1) 組合の将来像

目標年 平成26年  
水田面積 水稻24ha（最終目標30ha：H30）  
直販拡大 2,400袋  
施設 米保管施設、農機収納庫  
構成員 12名（現状と同じ）  
職員 平成24年に採用予定（20代）農・山林作業のできる職員とする。

### (2) 生産経営の現状

多里生産組合は、活動範囲を日南町全域としているが、現在は多里地域だけとなっている。

①構成員 12名  
職員 2名

#### ②作付け状況

水稻20ha（コシヒカリ13.5ha、ヒカリシンセイキ1.5ha、ヒメノモチ5.0ha）  
ソバ1.5ha リンゴ45a トマト16a ピーマン30a 椎茸1000本

③受託作業 田植 3.88ha 代掻き0.7ha 畦付4,797m 水稻苗913箱  
刈取12.98ha 乾燥調整2,557袋

- ④保有機械 トラクター33ps 1台、田植機6条2台、コンバイン4条2台  
乾燥機6台、粃摺機1台、米保管庫2台、

### (3) 課題等

- ①構成員が高齢になり、労働力不足のため借地面積が増えるのに対応できなくなった。
- ②転作田での野菜栽培は、労働力不足で適期作業ができないため品質も悪くなり販売額も伸びない。
- ③水稲20haの規模となり、現有トラクター1台では作業に遅れが生じている。
- ④職員体制  
現在は、40歳代1人・20歳代1人ですが、繁忙期は労働力が不足しているため機械作業のできる2人が必要となる。
- ⑤平成23年は米の直販6割としているが、8割は直販したい。

## 2 生産経営等の改善内容(目標)と効果

### ①新規雇用

- ・現在、40歳代1人・20歳代1人を雇用している。平成24年4月には、20歳代2人の雇用を計画している。今後はより作業能率が上がるよう指導したい。
- ・農繁期には水稲を中心に作業を行い、農閑期には山林業務に従事するよう年間の労働バランスを考えたい。
- ・雇用により労働力が確保され、転作田の野菜栽培の適期作業に努め品質と収量の向上が図れる。
- ・このことによって規模拡大後の労働力の確保が図れる。

### ②トラクターの導入

- ・トラクターは自己所有1台とリーストラクター1台で作業している。リーストラクターは作業能力が低いため、規模拡大に伴い作業に遅れが生じている。今回、作業能力の高いトラクターを導入することで適期に作業を行うことができ、将来構想の30haの水稲栽培も可能となる。
- ・耕作の継続が困難になった水田を受託することにより、耕作放棄地を未然に防止し、地域の農地保全に貢献できる。

### ③乾燥機の導入

規模拡大に伴い、乾燥機30石1台を新規導入する。



## 5 支援事業の内容

(単位：円)

年度	内 容	事業費	事業費			備考
			県	町	事業主体	
24	トラクター	5,100,000	1,700,000	850,000	2,550,000	
	小 計	5,100,000	1,700,000	850,000	2,550,000	
26	石抜き・色彩選別機	4,000,000	1,333,000	667,000	2,000,000	
	小 計	4,000,000	1,333,000	667,000	2,000,000	